

みんなのひろば

ただいま独身



石井美由紀さん(朝日町)

- ピープル・エグザス 豊栄勤務
 - 趣味は? ドライブ
 - 休日の過ごし方は? ドライブ・買い物
 - 好きなタイプの男性は? 優しくしてかるときにはしかってくれる人
 - これからやってみようことは? ぶらっと国内旅行
- ※スイミングクラブで指導員をしています。泳げる人も泳げない人もぜひどうぞ。
(22歳 O型 射手座)

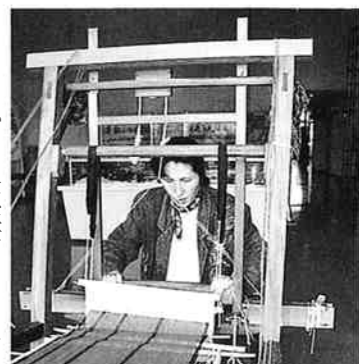


小林一哉さん(新潟市)

- 北越銀行豊栄支店勤務
 - 趣味は? スキー
 - 休日の過ごし方は? 飲みに行く
 - 好きなタイプの女性は? 明るくてかわいい人
 - これからやってみようことは? ゴルフ
- ※涉外で大口・太田・柳原地区を担当していますので、声を掛けてください。
(27歳 O型 水瓶座)

※このコーナーに登場する方を募集しています。
(自薦、他薦は問いません)

39 紹介



伝統の技術を 伝えたい

橋本信子さん(朝日町・四十三歳)

葛塚縮手織りの会では、手織りの葛塚縮で、この四月一日に開所した特別養護老人ホーム「ほうせい園」に寄贈しました。「懐かしい葛塚縮を目にして、お年寄りが心を和ませてくれたらと思ひ、会員みんなで頑張って作りました」と手織りの会会長の橋本さんは話しています。

葛塚縮は、当市葛塚の町名を冠した木綿織物で、太い綿糸と天然藍に化学染料を混ぜた堅牢な藍染めが大きな特徴でした。布地は丈夫で長持ちし、厳しい農作業を支える野良着として、また一般の家庭の普段着として用いられました。

その起源は江戸時代後期までさかのぼり、町の主要産業として発展してきました。大正中期には最盛期を迎え、町の中には機業四十戸、染物業十一戸という記録が残っています。機械織機も導入され、年生産高約二十万トンまで達し、その販路は遠く東北、北海道にも及びました。その後、戦後に第二の最盛期を迎えますが、徐々に衰退し、昭和四十七年を最後に豊栄の町から機業の音が消えてしまいました。

しかし、昭和六十三年夏に博物館で展示が行われたのをきっかけに、この幻となった葛塚縮を伝えていこうと葛塚縮手織りの会が発足し、博物館に収蔵された古い機を借りて、地元の手織りを経験した八十歳代のおばあちゃんたちからその技術を教えてもらうようになったということです。

現在葛塚縮手織りの会の会員は八人。博物館の機を使って葛塚縮の製作に取り組んでいます。会長の橋本さんは「機織りという織機に向かって布を織る作業を思い起こしますが、実際には機に糸を上げる前に縦糸を布の幅分の長さに整える整経の作業が一番大変です。最初は一反織るのに時間がかかり、形もなかなか整わず、苦勞の連続でした。でも、どんな大変でも、手で織ったものの感触やその風合いは、機械で織ったものとは全然違います。無心になって布を織る楽しさ、出来上がったときの喜びはやってみたい者にしか分かりません」

さらに、「今までは出来上がった布を切るののもったいなくて(笑)、なかなか製品にできなかったんですが、技術も向上してきましたし、今回ののれん作りを機会に、これからは葛塚縮を使っていたいろいろな製品作りに挑戦していきたいですね」と話してくださいました。

今後も伝統の技を伝えるためにがんばってください。

市民文芸

俳句

海鳴りを集めて七草粥の膳
上大口 本田十一郎

若草の息吹きたしかむ朝の試歩
中黒山 長谷川逸雄

餅すきに余のもの入らず雑煮膳
柳原 志田 定夫

吹き荒れる外をしばしの齋の粥
早通北 齊藤 勉

煌煌と産院眩しき初明かり
新潟市 西方 宏至

川柳

臭覚で見破る靴の二重底
早通北六 吉間 港月

廃屋の苔むす瓦すべり落ち
松ノ町 吉川 初枝

綾取りを思い出してる春の指
下早通 須藤 士筆

ジョギングも続かず二段腹
法花鳥屋 佐藤重津志

短歌

五十年禍福を越えて共に生くる妻は黙して針運びおり
川西一 森岡 善一

村岡の山から聞こゆる鐘静かなる里に木霊となりて
上土地亀 伊藤 和伊

住専のつけ回さるる国民の怒りの声は巷に上がる
長場 宮尾 豪

法善寺横町で唄をうたい見知らぬ人より拍手もらいぬ
川西一 立川 春枝

夫よりも先に逝きたる人の通夜の席に開きたり闘病の日々
嘉山 大脇 花子

古時計止まったままの侘び住まい
平林 品田 浪乱

元氣なふりっく

- 人権擁護委員に再任
法務大臣から三月十五日付で土田彦枝さん(森下・七十歳)が、人権擁護委員に再委嘱されました。
- ありがとうございました
- 田沢義雄さん(内島見)が、中央公民館に黒板一台を寄付。
○株坂詰組(代表取締役 坂詰市四郎さん・安田町)が社会福祉資金に二十万円を寄付。
○年輪共和国が、社会福祉資金に七万円を寄付。
○芸能ボランティアグループのみなさんが、社会福祉資金に一〇五、一四一円を寄付。
○碓田敏明さん(白新町三)が、社会福祉資金に一万円を寄付。
- 福島潟フォトコンテスト結果
応募点数一七六点から次の方が入賞しました。
- 豊栄市長賞
安達富雄さん(山形県西置賜郡小国町)
- 豊栄市教育長賞
渋谷和吉さん(新発田市)
- 豊栄市博物館長賞
貝津吉之助さん(新潟市)
- *ほか入選十名、佳作二十名
- | | | |
|---------|-----|--------|
| 手代木和文 | 五三歳 | 前新田 |
| 丸山 エツ | 九十歳 | 新 鼻 |
| 山田 セツ | 八五歳 | 白新町一 |
| 高橋 善次郎 | 七四歳 | 岡新田 |
| 小川 勇 | 六九歳 | 下他門 |
| 上田 弥吉 | 七三歳 | 上土地亀 |
| 中村 一臣 | 五九歳 | 柳 原 |
| 長谷川 嶺子 | 五七歳 | 下大口 |
| 坂井 ハル | 八十歳 | 柳 原 |
| 浦井 國治 | 九二歳 | 笹 山 |
| 山際 イシヲ | 八二歳 | 横土居 |
| 和田 ハツノ | 八十歳 | 横土居 |
| 伊藤 春義 | 八三歳 | 東栄町東 |
| 中川 ツユ | 九五歳 | 下土地亀 |
| 本田 ミノ | 八三歳 | 長 場 |
| 青柳 武男 | 八八歳 | 白新町一 |
| 藤田 八重子 | 六十歳 | 仏 伝 |
| 清水 キヨミ | 七九歳 | 下大口 |
| 坂井 チヨシ | 八五歳 | 上大口 |
| 長谷川 ノブ | 五一歳 | 柳 原 |
| 鈴木 清 | 五九歳 | 尾山団地第三 |
| 吉井 ミサヲ | 七二歳 | 白新町三 |
| 高橋 ミノル | 八三歳 | 浦 木 |
| 小池 要一郎 | 七八歳 | 下大口 |
| 長谷川 キクエ | 八三歳 | 下大口 |
| 中村 辰雄 | 五七歳 | アイズエント |

いぬ・こぶくをお祈りします

※ここに掲載したのは、三月中旬に出生死亡届のあったものです。掲載について都合の悪い場合は、市民課市民係へお申し出ください。なお敬称は省略します。